



◆◆◆ 関連会社の仕事にも触れる

同じビルには、Jリーグ関連会社も入っている。今回は、そのうちの2社からどんな仕事をしているかを教えてもらった。「Jリーグエンタープライズ」は、ロゴが入ったオフィシャルグッズを扱う会社。新商品の企画やデザインのほか、多くの店舗に商品を置いてもらえるようにする営業の仕事もあることがわかった。

◆◆◆ わかりやすい解説に子供達も納得

中西さんへの質問は、サッカーがどうしたら上達するかに集中した。「周りを見ながらドリブルをしたり、考えながらパスをしたり、同時にいろいろなことができるように、常に冷静でいよう。毎日の練習を大切にして、基本的な技術は当たり前に行えるようになることが大切」と中西さん。食事の内容や睡眠時間にも気を配り、ケガをしない丈夫な体を作ることも大事だと教えてくれた。有名な選手の名前をあげながら続く説明に、子供達も具体的なイメージを頭に描けたようだ。



◆◆◆ 子供達にもフレンドリーなチェアマン

「アイテムしごと探検隊」がJリーグ事務局を訪問するのは今年で3回目。今回のナビゲーターは、JリーグOBの中西哲生さんだ。鬼武チェアマンは毎回、隊員に選ばれた子供達をやさしく迎えてくれる。チェアマンに初めて会ったはずの子供達も次々と質問を浴びせて、スタートから時間が足りなくなるほど。「チェアマンのやりがいは何ですか」という問いには、「スタジアムを満員にすること」と、にっこり。「サッカーを通じてたくさんの人が友達になるにはどうしたらいいかを、いつも考えています」と答えられた。



小学生が探検！ Jリーグに関わるいろいろな仕事

◆◆◆ 試合を見守る審判員も、体力が勝負



Jリーグ担当審判員の岡田さんが審判の使う道具を見せてくれると、子供達からは小さなため息が漏れた。審判の仕事は、選手が安全に、公平に、楽しくプレーができるように見守ることだという。試合前には、ボールの空気圧や選手が使用するスパイク等をチェックする。試合中は常に走り続けるため、日々のトレーニングが欠かせないそうだ。「選手だけでなく、時には審判も応援してね」と微笑む岡田さんに、子供達も元気にうなずく。

◆◆◆ 芝生管理は自然との闘い

ところで、大きな試合が行われる国立競技場の芝生が一年中緑色なのはどうしてなのだろう。「夏と冬、季節によって種類の違う芝生を育てているからです」と教えてくれたのは、国立競技場の渡辺さんだ。20年ほど前は夏用の芝生だけを育てていたため、冬になると表面が枯れてしまっていたそうだ。より安全にプレーできるようにと研究が重ねられ、現在は芝生が約半年ごとに入れ替わるように、入念に管理されている。

◆◆◆ 週刊誌づくりは時間との闘い

「サッカーマガジン」の編集記者・柳澤さんは、雑誌ができるまでを説明してくれた。編集部全体で話し合った企画に沿って、記者が選手や監督等取材し、原稿を書く。ページ構成やレイアウトをデザイナーと話し合い、ようやく誌面ができて上がる。たった1ページのために、数ページのデザイン案を検討することもあった。週刊誌を作るために、膨大な作業が毎週繰り返されていることに、子供達は驚いていた。



◆◆◆ 子供達に、「仕事」を感じてほしい

Jリーグ事務局を訪問して、子供達はどんな思いを抱いたのだろうか。アイテム本社に戻って、みんなで探検を振り返った。「芝生の管理は大変そう」だけとやってみたい。「審判もカッコいい」グッズを作る仕事もいいなあ。「チェアマンになりたい」「取材もしてみたい」……。初めて集まった隊員とは思えないほど、会話がはずむ。

子供達が大好きなJリーグは、あこがれの選手ばかりでなく、さまざまな人たちの仕事で支えられていることを、感じ取ってくれたようだ。



隊員の感想コーナー

- 大きいスタジアムなのに、たねまき、水やり、とかをやっている大変なんだと思った。(海田さん)
- ほかの学校の人と友達になれたり、スタッフと仲よくなれたし、サッカーのことがよくわかったので、とっても楽しかったです。チェアマンの鬼武さんのいすにすわってラッキー！(中村さん)
- みんな、じみなどころでがんばっているのがわかりました。これからは、みなさんにかんしゃしてサッカーをがんばっていきたいと思います。(岡田くん)
- ほくも中西さんのような選手になりたいです。(高野くん)
- なにをやっても仕事は大変だなーと思いました。今日、たいけんしたことをこれから活ようにしていきたいです。(山田英介くん)
- 審判は90分も走りつづけていて、よくばてないと感じた。(渡辺くん)
- どんな仕事もすごく大変だと思った。だけど、どんな仕事も大事だと思った。(亀井くん)



● 「アイテムしごと探検隊」ご協力のお願い
(株)アイテムでは、訪問先としてご協力いただける企業・団体を募集しております。子供たちが「仕事」について考える機会を一緒に提供して頂けませんか？
お問い合わせは「アイテムしごと探検隊」事務局まで ☎ 0120-938-989